

全国高校野球選手権記念

青森大会

第100回

◇第2日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第2日は10日、八戸市長根、青森市営、弘前市はるか夢、六戸メイフルの4球場で1回

▽1回戦	
八戸市長根	八戸中央 9-11
弘前市長根	弘前豊 14-00
弘前市長根	弘前豊 14-00
青森市長根	青森西工大 11-09
青森市長根	青森西工大 11-09
青森市長根	青森西工大 11-09
青森市長根	青森西工大 11-09
青森市長根	青森西工大 11-09

きょうの試合

戦12試合を実施した。三沢が十和田工とのシーソーゲームを制してサヨナラ勝ちを収めたほか、七戸は青森東を5-2で下した。大湊はウルスラとの接戦をものにした。八戸工、八戸野西、八戸西はそれぞれコールド発達した。
第3日の11日は、4球場で1回戦計11試合を行う。
(取材班)

試合速報

野西 小刻みに加点

青森工 00000000
八学野西 001121x070
(7回コールド)
(青)田中、佐々木、上町、今村、木村
(八)菅野、白石健
▽三塁打 松山(八)▽二



【青森工一八学野西】7回八学野西無死二塁、松山空良が適時打を放ち6-0とし、三塁へ滑り込む＝青森市営

適時打と敵失で2点を加えるなど、小刻みに加点して攻撃の手を休めなかった。先発菅野は安定した投球で、7回無失点。青森工は、投手陣が打たれ、粘れなかつた。

「自分らしい打撃」
○：八学野西は打線がっさり、コールド勝ち。下位打線ながら初スタメンの松山空良が4安打と好機を演出、「自分らしい打撃ができた」と満足そうな表情を見せた。
松山は四回に先頭打者で、左前打で出塁し、味方の適時打でホームイン。七回には無死二塁からダメ押しとなる、センターの頭を越える適時三塁打を放った。
昨秋から背番号は2桁で、スタメン起用はなかった。冬に打撃フォームを改良し、得意なストリート打ちを強化。今大会直前に背番号3をもらった。好調な松山は「次の試合も打って勝利に貢献したい」と意欲十分だ。
青森工・今村圭太（七回に4四球などでサヨナラ負け）「気持ちがあ回りしてしまっ。最後の押し出し四球は本当に悔しい」

八学野西	打	安	振	球		
八学野西	2	2	1	1	0	0
八学野西	0	1	1	0	0	0
八学野西	1	0	1	0	1	0
八学野西	0	1	0	0	1	0
八学野西	0	0	1	1	0	0
八学野西	0	0	1	1	0	0
八学野西	0	0	1	1	0	0
八学野西	0	0	1	1	0	0
八学野西	0	0	1	1	0	0